



1

海を見に行こう

【ねらい】

- 海の広さを実感するとともに、海の色は場所や時間によっていろいろな色に見え、わたしたちの目を楽しませてくれることに気づかせる。
- 美しい日本海を大切にする気持ちを育てる。

【実施の条件】

- | | |
|---------------------|-------------|
| ●対 象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／昼間 |
| ●人 数／10人程度 | ●場 所／海岸の高台 |
| ●季 節／春～冬 | ●所要時間／40分程度 |

【準備するもの】

筆記用具、色鉛筆、クレヨン、画用紙、折り紙(色の豊富なもの)、ぬり絵カード

【すすめ方】

海がよく見える所に行き、海の広さを実感し、海のいろいろな色を見つけよう。

① 高いところから海をながめてみよう。

- 海はすごく広いなあ。水平線がみえる。
- 海の色は青と思っていたけど、いろいろな色があるなあ。

② 海の色と同じ色の折り紙を見つけよう。

- 浅いところや深いところで色がちがうな。
- 光の当たりあいでもちがうよ。
- 季節によっても見え方はかわるのかな。

③ ぬりえカードに海の色をぬってみよう。

- 今日の天気や時間も記録しておこう。
- 近いところや遠いところでも色がちがう気がする。

④ 海の絵の発表会をしよう。

- いろいろな色が見つかったな。
- 海の色は変化に富んでいてきれいだなあ。



〈バリエーション〉 時間や季節をかえて海の色を見学する機会を設けることで違った海の景色を見ることができる。

そこにすむ魚に手紙を書くことで、海の広大さや様々な表情の変化に感動する心情を育むことができる。

うみ み い 海を見に行こう



- ① たか うみ 高いところから海をながめてみよう。
- ② うみ いろ おな いろ がみ 海の色と同じ色のおり紙をみつけよう。
- ③ うみ いろ ぬりえカードに海の色をぬってみよう。
- ④ うみ え はっぴょうかい 海の絵の発表会をしよう。

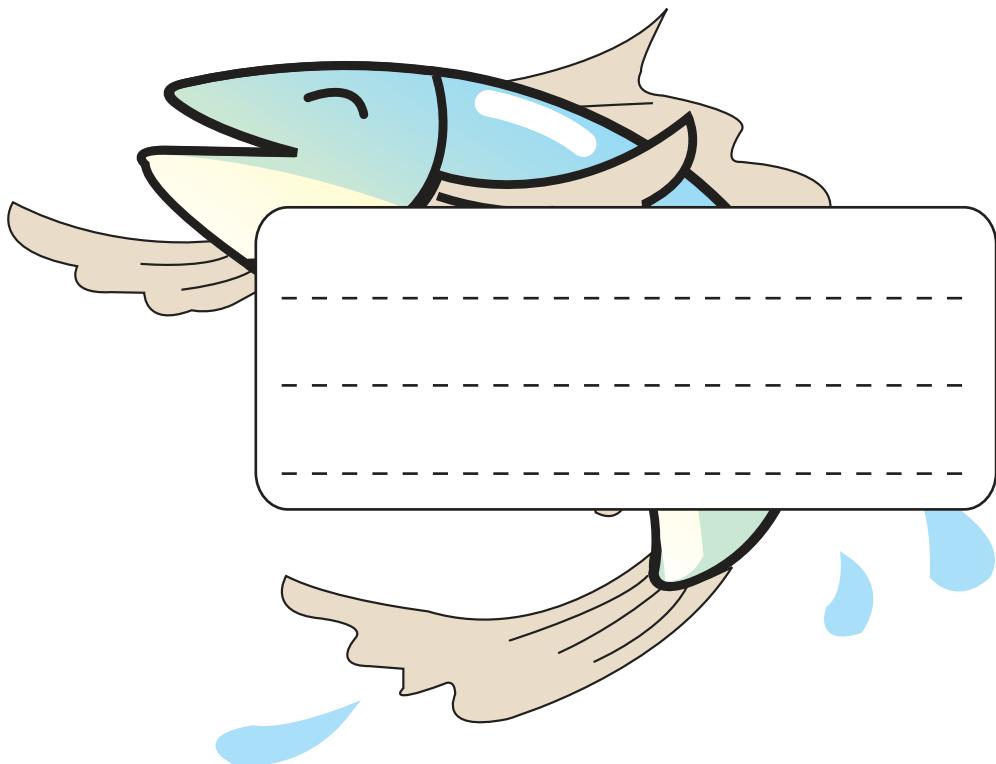
ぬりえカード「海を見に行こう」

月 がつ 日 にち 時 じ (天気 てんき) い)

なまえ

(*指導者の方で事前に見学先の海の景色を描いておき、ぬりえができるようにしておく。)

うみ
海にすんでいる 「お魚さん」 におてがみをかこう。



さんこうしりょう
【参考資料】

うみ　み　い
海を見に行こう



すさちょう
須佐町ホルンフェルス



へきちょうにい　はま
日置町仁位の浜

さんこうしりょう 【参考資料】

海を埋めようとして負けた鬼の話

豊北町

平成12年、角島と本土との間に橋がかかりました。この周辺は万葉集にもうたわれた、おいしいわかめの産地です。その海上を車が人が行き交うようになりましたが、この伝説は、夢の橋を先どりしたようなお話をです。

むかし、角島の対岸、島戸の高坪山に鬼が住んでいた。いつどこから渡ってきたのか、山を降りて来ては盗みをし人々を困らせた。鬼の本拠は、このあたりでは豊浦町黒井の鬼ヶ城にあり、時々狼煙を打ち上げてはお互い連絡しあう。黒井の鬼は源頼光が大江山で酒呑童子を平らげたとき、雲隠れした鬼の一族である。

鬼の出没にてこすつた村人は住吉の大神様にお願いした。「この神様の本家は穴門（下関）の住吉大社らしいが、ここ島戸にいつからやつてこられたか、だれも知らない。海上の交通安全を守り、村人の氏神としてあがめられていた。

神さまは男装をしておられ、どうも武勇のほまれ高い神功皇后の化身らしかった。村人の訴えをきかれ、それはもつともと

一計を案じられた。使いを出すと山から鬼の頭目がやってきた。大神さまは、「こんこん」と言いきかせたのち、「どうですか、一つわたくしと賭をしませんか」と誘いをかけた。

その条件は、「一晩のうちに島戸と角島の間の海を陸続きにしたら、なんでもお望みのものをあげる」というのである。「神さま、勝ったら浜の生けすを全部いただきますぞ」と、鬼はスゴんだ。大神さまは、につっこりと笑って鬼を帰した。

鬼たちは一家総動員で、海辺の山を崩しては大きな石を投げ込みはじめた。ドボンドボン、見る見る美しい海士ヶ瀬は泥の海と化し、あわや陸続きになろうとした。漁場を失うのでは、と眠らずに見守っていた村人たちは、神さまも妙な問題をおだしになつたものよと恨んでいた。そのとき住吉の大神さまは木の上に登って、簾笠をばたばたさせ、「コケコッコウ」と鶏の鳴き声をされた。びっくりしたのは鬼たち。

「しまった。夜が明けたぞ。おれたちの負けじや」と叫んで、一団散に逃げだした。
海は再びもとのとおりになつたが、一番大きな岩が一つ、今も残っている。地元では鳩島と呼んでいます。



つしまおおはし
角島大橋



バリティビュ

2

海にしずむ夕日に万歳!

【ねらい】

- 海にしずむ夕日を眺めることをとおして、自然の雄大さや美しさに感動する心情を育てる。
- 美しい日本海を大切にする気持ちを育てる。

【実施の条件】

- | | |
|---------------------|-------------|
| ●対 象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帰／夕方 |
| ●人 数／10人程度 | ●場 所／海岸 |
| ●季 節／春～秋 | ●所要時間／20分程度 |

【準備するもの】

筆記用具、色鉛筆、クレヨン、ぬり絵カード

【すすめ方】

海にしずむ夕日を眺めて、歌を歌ったり、カードに色をぬったりしよう。

① 海にしずむ夕日をながめよう。

- とてもきれいだな。ゆったりした気分になれる。
- 太陽が大きくみえるよ。
- お父さんやお母さんにも見せてあげたいな。

② 「海」「夕焼けこやけ」等をみんなで歌おう。

- 夕日がしずむまでをじっくり見たのは初めてだ。
- 夕日の色がとってもきれいだな。

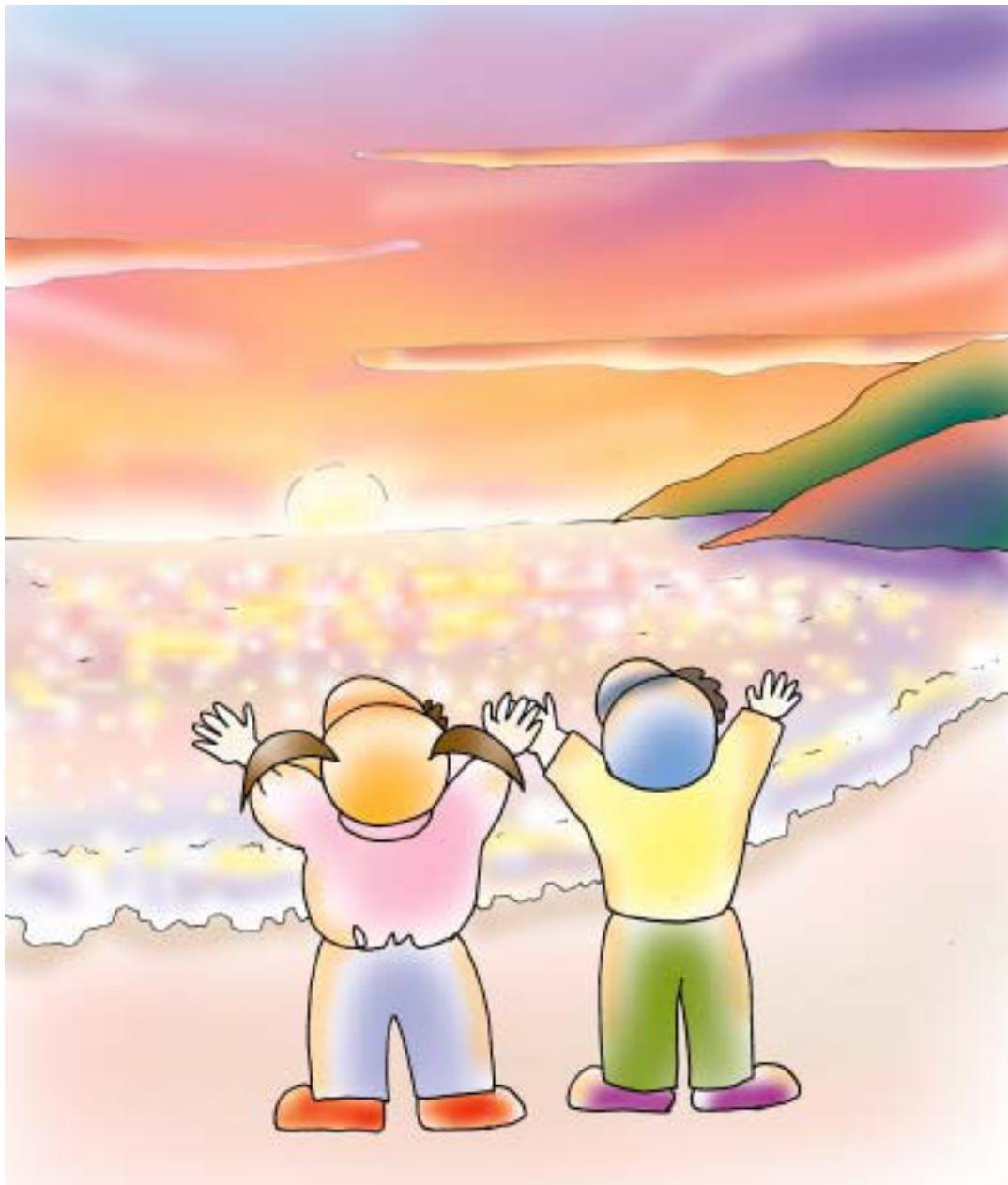
③ 海、夕日、空、雲などの色をぬろう。

- 空や雲がとってもきれいな色だ。
- 海の色も昼と違ってきれいだな。



〈バリエーション〉 自然との一体感を楽しみながら、自らを振り返るとともに、細長い画用紙に自らの決意（目標、めあて）等を一行で書き、将来への希望を語り合うこともできる。
(海や夕日に関する詩の朗読も可能である。)
夕刻でもあり、保護者の参加を交えた活動も可能である。

うみ ゆう ひ 海にしずむ夕日にはんざい!



- ① うみ ゆう ひ 海にしずむ夕日をながめよう。
- ② うみ ゆう や 「海」「夕焼けこやけ」などをみんなでうたおう。
- ③ うみ ゆう ひ そら いろ 海、夕日、空、くもなどの色をぬろう。

ぬりえカード「海にしずむ夕日にはんざい」

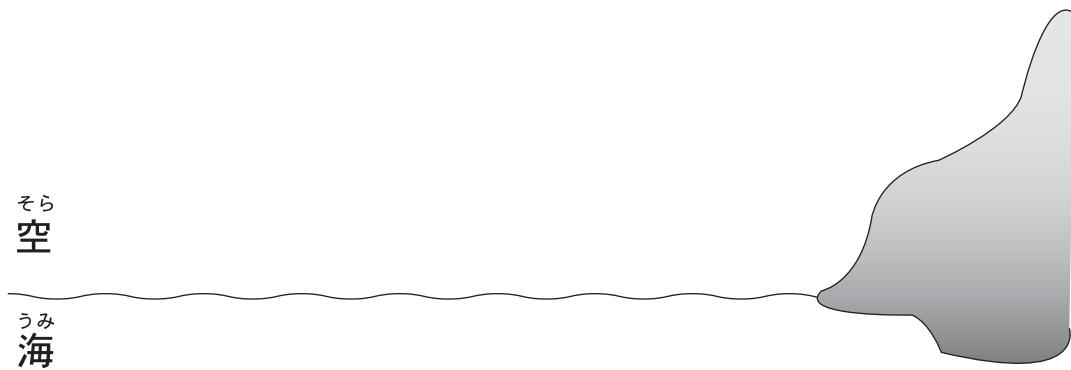
がつ うみ じ ゆうひ
月 日 時 夕日
(てんき)

なまえ

- 1 海にしずむ夕日をかいてみよう。
- 2 空、夕日、海、くもの色をぬってみよう。

そら
空

うみ
海



さんこうしりょう
【参考資料】

うみ ゆうひ
海にしずむ夕日にばんざい!



ゆやちょうたなだ ゆうひ
油谷町棚田の夕日



はぎし
萩市



ゆやちょうつお
油谷町津黄